

令和8年度 道路台帳電子化業務  
特記仕様書

白馬村

## 第1章 総 則

(適用)

第 1 条 本仕様書は、白馬村の地図情報及び施設情報の互換性、整合を図り総合的な管理運用を図るため、道路台帳図電子化を目的に地理情報システム（G I S）の基盤となる空間データのデジタル化、一定の品質の確保また各施設データの標準化を行なう作業に適用する。

(目的)

第 2 条 本仕様書は、事業の基本となる事項を定めるもののほか次の7項目を目的とする。

- (1) 現在、道路台帳図等はアナログ管理であり、住民等は情報の閲覧・取得のために役場窓口へ来庁せざるを得ず、時間的・地理的な負担が課題となっている。本事業ではこれら情報を電子化し「公開型GIS」へ搭載することで、24時間どこからでも情報を即時取得できる「非来庁型サービス」を実現し、住宅建設や土地利用に伴う調査・手続きを飛躍的に迅速化させる。さらに、正確なデジタルデータの可視化により、安全・安心なまちづくりを促進する。なお、本業務は国の地域未来交付金デジタル実装型（TYPEA）を活用するものであるため、導入するGISはその趣旨を踏まえたものとし、デジタル庁の公開するモデル仕様書に準拠したものとする。
- (2) 基盤地図データの一元化による利用の統一性、業務の効率化・高度化・サービスの向上、2重投資の回避、整備コストの削減を目的とした基盤地図整備
- (3) 業務管理の骨格となる道路情報及び台帳のデジタルデータ化による共通した空間データ基盤での管理と運用
- (4) 共用空間データでの各種台帳データの構築・管理・運用
- (5) 地理情報標準プロファイル（J P G I S）2014等の幅広くデータ交換標準（GISアクションプログラム2002-2005）に対応したデータ構築の検討と整備を目的とする。
- (6) 既存システム等との連携を図り、村全体の共有財産として広く活用できうるものであること。
- (7) 以後の整備業務、補正業務、メンテナンス業務の共有化を図る為の共通仕様書・作業要領の構築

(準拠する法令等)

第 3 条 本事業の実施にあたっては、本仕様書及び下記の関係法令、規則に準拠して行なうものとする。

- (1) 測量法（昭和24年法律第188号）
- (2) 白馬村公共測量作業規程
- (3) 国土交通省公共測量作業規程（平成28年国地発第190号）
- (4) 国土交通省国土地理院「空間データ製品仕様書作成マニュアル」
- (5) 国土交通省国土地理院「製品仕様による数値地形図作成ガイドライン改訂版（案）」
- (6) 地理情報標準版2版
- (7) 地理情報標準プロファイル（J P G I S）2014
- (8) 国土基本図図式
- (9) 地理空間情報活用推進基本法（平成19年法律第63号）
- (10) 道路法（昭和27年法律第180号）
- (11) 道路法施行規則（昭和27年建設省令第25号）
- (12) 道路施設現況調査提要（国土交通省道路局）
- (13) 道路G I S（国土交通省道路局）
- (14) 都市系計画法
- (15) 地方交付税法（昭和25年法律第211号）
- (16) 個人情報保護法に関する法律（平成15年法律第57号）
- (17) 白馬村個人情報保護条例（平成10年白馬村条例第6号）
- (18) 白馬村情報セキュリティーポリシー
- (19) 白馬村財務規則及び諸規則
- (20) その他の関係法令並びに諸規則等

(仕様書等に明示のないもの)

第 4 条 本仕様書に明示されていない事項で、作業上当然必要な事項及び法令又は慣行によって行なわなければならない事項は、白馬村（以下「発注者」という）と受託者（以下「受注者」という）協議の上決定するものとする。

(疑義)

第 5 条 本業務の実施に当たり本仕様書に明記なき事項又は疑義が生じたときは速やかに発注者、受注者協議するものとする。

(主任技術者及び現場代理人等)

第 6 条 本作業に従事する主任技師は測量法第 49 条に基づき登録された測量士とし、資格取得後 8 年以上の実務経験を有しかつ、道路台帳電子化業務に携わっている技術者の配置を行うものとする。また G I S データ作成並びにデータ取得の台帳関連業務に関して 8 年以上の実務経験を有する常時勤務者とし、地理空間情報専門技術者 G I S 1 級認定者の資格を有するものとする。

2. 現場代理人は、測量法第 49 条に基づき登録された測量士とし、資格取得後 8 年以上の実務経験を有しかつ、道路台帳現況図等の数値地形図作成等の作業を行うため、写真測量に豊富な経験を持ち、写真測量専門技術 1 級認定者の資格を有するもので、作業実施期間中現場に常駐し作業状況を把握しなければならない。

3. 担当技術者は、測量士の資格取得後測量に関し 8 年以上の実務経験を有し、かつ G I S データ作成並びにデータ取得の台帳関連業務に関して 8 年以上の実務経験を有する常時勤務者とし、地理空間情報専門技術者 G I S 1 級認定者の資格を有するものとする。

4. 長野県内で過去 5 年以内に数値地形図作成、修正及び道路台帳数値化業務の業務実績を有すること。

5. 長野県内で過去 5 年以内に統合型 G I S に関する保守業務及びデータ整備の実務実績を有すること。

(再委託の禁止)

第 7 条 本業務の実施については、すべての作業について契約約款第 7 条に該当する業務となる。

(使用機器の検定)

第 8 条 本業務に使用する機器は、公共の機関が定める「測量機械器具の検定基準」に基づき検定を受け承認を得たものを使用しなければならない。

(諸手続き)

第 9 条 本作業に必要な関係官公庁及び民間に対する諸手続きは、すべて受注者の責任において行なうものとする。

測量法に基づく下記の公共測量の手続きは、発注者と協議の上行なうものとする。

(1) 測量成果の使用承認 (測量法第 30 条第 1 項)

(2) 計画書についての助言 (測量法第 36 条)

(3) 測量成果の提出 (測量法第 40 条第 1 項)

(損害賠償)

第 10 条 本作業実施中に生じた諸事故に対しては受注者が全責任を負い、損害賠償等の請求の一切を処理するものとする。

(作業の実施)

第 11 条 本作業の実施にあたってあらかじめ次のうち必要な書類を提出し、発注者の承認を受けるものとする。

(1) 作業実施計画書

(2) 作業工程表

(3) 作業着手届

(4) 主任技術者届及び現場代理人届

(5) 業務計画書

(6) その他

(貸与資料の取扱い)

第 12 条 本業務において貸与する資料については、個々の資料について管理者が異なるため、使用期間及び取扱い等、各課との協議を十分に行なうものとする。また取扱い及び保管については、その重要性を十分認識し慎重に行い、作業終了後速やかに返納するものとする。

(土地等の一時使用)

第 13 条 測量作業の実施にあたり、植物・垣若しくは柵等の伐除又は土地樹木若しくは工作物を一時使用する場合は、所有者等の承諾を得て行なうものとする。

(検査)

第14条 受注者は検査を受ける場合には、事前に成果品並びに関係資料等を備え主任技術者が立会いの上、検査を受けるものとする。

(かし担保)

第15条 検査完了・引き渡し後において受注者の過失又は疎漏に起因する不良箇所が発見された場合は、受注者の負担において速やかに必要な作業を行なうものとする。

(工期)

第16条 本作業の工期は、契約日の翌日より令和9年3月26日までとする。

(著作権)

第17条 知的所有権等(本業務の成果品に関する所有権及び著作権法に規定する複製権(第21条)・貸与権(第26条の2)・翻訳権・翻案権(第27条)、二次的著作権の利用に関する原著作権の権利(第28条))については、業務の完了と同時に発注者に無償で譲渡するものとする。ただし、当該成果品のうち、下記の事項についてはその限りではない。

(1) システムのプログラム等に共通に使用されるモジュール・サブルーチン・またはこれらを組み合わせたもの

(2) (1)の関連資料及びその他著作物の著作権

(瑕疵担保責任)

第18条 業務完了後、納入成果品に不良箇所が発見された場合、納品時より1年間は受注者の責任において無償で修正を行うものとする。

(個人情報の管理)

第19条 受注者は業務上個人情報を取り扱うに当たり、管理責任者を定め、下記に留意して業務を実施するものとする。なお、業務の実施にあたっては個人情報保護条例等関係法令に準拠して行うものとする。

また成果の品質管理及び情報保護等から次の資格を取得していなければならない。

① ISO 9001 (品質評価システム)

② JIS Q 15001 (プライバシーマーク)

(その他の留意事項)

第20条 国の地域未来交付金デジタル実装型(TYPEA)に本村が採択された事業として実施するものとする。また本業務はデジタルを活用して地域の課題解決等を図るサービス・システムの共通化・標準化を推進する観点から、デジタル庁のモデル仕様書に準拠したサービス実装を行うものとする。

また、本事業は補助金対象と非補助金対象となるため、契約は2契約となるものとする。

## 第2章 業務内容

(業務範囲)

第21条 本業務の対象範囲は白馬村内一円とし、認定路線に関する基本数量は、下記のとおりとする。

(1) 路線総延長 328.414 km

1級路線 26.49 km (一部試験的にデータ化及びシステム搭載済み)

2級路線 28.682 km

その他路線 273.242 km

(作業概要)

第22条 本業務の作業概要は、下記のとおりとする。

### 1. 道路台帳図数値化整備

(1) 未整備路線道路台帳図作成 15.0 km

(2) 道路情報データ化 301.92 km

(3) 道路情報属性データ構築 301.92 km

(4) 地図データの作成 1.0 式

### 2. 公開型GIS構築

(1) データ変換及びシステム作成 1.0 式

### 3. 道路台帳管理システムソフトウェア及びハードウェア

(1) 管理システムソフトウェア 2本

(2) 管理システム(GIS)構築 1.0 式

(3) 道路台帳管理システム導入 1.0 式

(4) 納品・セットアップ 1.0 式

- |                                 |            |
|---------------------------------|------------|
| 4. 統合型 GIS 構築 (K=MAST BIG TOWN) |            |
| (1) 既存 GIS 再構築及びデータ移行           | 1.0 式      |
| (2) 統合型 GIS サーバ                 | 1 台        |
| 5. 公開型 GIS 構築                   |            |
| (1) ArcGIS Online ライセンス         | 1.0 式      |
| (2) ArcGIS Online サービスクレジット     | 1000 クレジット |

(貸与資料)

第 23 条 本業務で貸与する資料及びデータは下記のとおりとする。また取り扱い及び保管についてはその重要性を十分認識し慎重に行い、作業終了後速やかに返納するものとする。

- (1) 道路台帳調書 (紙及び PDF データ)
- (2) 道路台帳図 (紙及びマイラー及び PDF データ)
- (3) 橋梁台帳 (紙)
- (4) 認定路線網図原図 (マイラー)
- (5) 令和元年度道路台帳デジタル化に関わる現況差異抽出業務 成果品
- (6) 1/2,500 基盤地図データ (数値地形図データ)
- (7) 1/10,000 基盤地図データ (数値地形図データ)
- (8) 航空写真オルソ画像データ (TIFF データ)
- (9) 現況地番図データ
- (10) その他発注者、受注者協議により発注者が必要と認めた資料

※白馬村既存 GIS 環境での運用を前提としているため、G B . N E T データ形式及び S h a p e 形式で作成して納品するものとする。作成においては、既存成果の図式表現等の整合を図るものとする。

### 第 3 章 全体計画等

(全体計画)

第 24 条 全体計画は、本業務の内容及び業務量を把握した上で、業務履行に必要な人員、機材の確保及び作業工程を含む業務履行体制について計画立案し、業務計画書にとりまとめるものとする。

また、現行の実施工程に変更が生じ、その内容が重要な場合には、その都度変更した業務工程表を提出し、「発注者」の承認を得なければならない。

(資料収集整理)

第 25 条 資料収集整理は、本業務での必要な書類の収集・整理を行い、「発注者」の承諾のもとに資料の複製を行うものとする。なお、資料類の時点は原則として最新時点とし、データ化されている資料について極力データにより、かつ流通性が高いフォーマットにより貸与するものとする。

(打合せ協議)

第 26 条 打合せ協議は、本業務における打合せ協議は、業務着手時、中間打合せ (2 回)、成果品納入時の計 4 回とするが、業務の性質上必要と認められる場合は適宜行うものとする。

(製品仕様書の作成)

第 27 条 製品仕様書の作成は、「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014」等のガイドラインに準拠し、発注者の意向を踏まえた製品仕様書の作成を行うものとする。

(道路台帳整備要領の作成)

第 28 条 道路台帳整備要領の作成は、発注者が保有する現況の道路台帳の整備方法を確認し、現地調査の取得基準・道路台帳図の作成方法や補正の要領を作成するものとする。

## 第4章 道路台帳調書数値化

(要 旨)

第29条 道路台帳調書数値化は、既存道路台帳調書を基に、道路台帳調書データを作成するものとする。作成した道路台帳調書データを用いて、電算処理を行い、道路台帳調書データベースを作成するものとする。また移行する既存調書データの検証・解析およびデータ変換作業を行うものとする。

(データ検証・解析)

第30条 データ検証・解析は既存の道路台帳調書で管理されている路線に関する延長、幅員、面積等の基礎データについて検証・解析を行うものとする。

また、検証・解析の結果は将来的な管理に活用するため、報告書としてまとめ監督員に提出するものとする。

(データ変換・移行)

第31条 データ変換・移行は解析した基データを汎用性のあるデータ形式に変換し、新システムへ移行を行うものとする。また作業着手時に書式及び計算プログラム等の検査し、作業を行うものとする。検査の対象となる書式及び計算プログラム等の仕様は、現在の内容と同様とする。なお、この時にデータ変換等の作業が発生する場合の経費は、すべて受注者が負担するものとする。

移行する調書データは道路法、国土交通省、総務省、管理用の各調書に準拠するものとする。記載する事項は下記の通りとする。

- 1) 道路の種類
- 2) 路線名
- 3) 路線の指定又は認定の年月日
- 4) 路線の起点及び終点
- 5) 路線の主要な経過地
- 6) 供用開始の区間及び年月日
- 7) 路線（その管理に係る部分に限る）の延長及びその内訳
- 8) 道路の面積及びその内訳
- 9) 最小車道幅員、最小曲線半径及び最急縦断勾配
- 10) 鉄道又は新設軌道との交差の数、方式及び構造
- 11) 道路と効用を兼ねる主要な他の工作物の概要
- 12) 軌道その他主要な占用物件の概要
- 13) その他必要とする事項

管理する帳票の種類は次による。

\* 道路法に準拠した調書

- |               |       |
|---------------|-------|
| (ア) 道路台帳      | (第1表) |
| (イ) 実延長調書     | (第2表) |
| (ウ) トンネル調書    | (第3表) |
| (エ) 橋調書       | (第4表) |
| (オ) 鉄道等との交差調書 | (第5表) |

\* 道路現況調査提要に準拠した調書

- |                   |
|-------------------|
| (ア) 道路現況（総括）台帳    |
| (イ) 道路現況（部分自歩道）台帳 |
| (ウ) 橋梁現況台帳        |
| (エ) トンネル現況台帳      |

(オ) 踏切道路台帳

＊地方交付税に関する調書

(ア) 道路橋梁異動調書

(イ) 道路橋梁路線別調書

＊その他管理調書

(ア) 道路現況調書

(イ) 実延長面積調書

(ウ) 橋梁総括表（台帳及び写真）

(エ) トンネル総括表（台帳及び写真）

(オ) 鉄道等との交差総括表（台帳及び写真）

(カ) 村町村道路現況調査（更新）表

(キ) 議会用資料

(ク) 異動表

（橋梁調査表データ作成）

第32条 橋梁調査表データ作成は、既存の橋梁調査表を基に入力を行い、デジタルデータとして整備を行うものとする。

また、数値化に伴い記載する項目について協議を行い、必要に応じて情報の追加取得を行うこと。

（不明確認・修正）

第33条 不明確認・修正は移行に際し、不明点についてとりまとめ、監督員に報告し、その回答に基づき修正を行うものとする。

（整合検査）

第34条 整合検査は移行した調書の各種数値について検査プログラムを使用し、データ間の関連性や付与コードの矛盾などの検査を行うものとする。

（調書出力）

第35条 変換・移行した調書システムより出力を行い調書種別ごとにとりまとめ、製本を作製する。製本は多穴フラットファイル綴じとする。

## 第5章 認定路線網図・橋梁等施設数値化

（要 旨）

第36条 認定路線網図・橋梁等施設数値化は、既存の認定路線網図、橋梁等施設について数値化を行い、本業務で導入する GIS 上で調書データと連動し運用するための図形データとして整備を行うものとする。

（路線網図数値化）

第37条 道路網図・橋梁等施設数値化は 1/2,500 または 1/10,000 レベルの地形図を基に既存の認定路線網図より展開・入力し数値化を行うものとする。入力した路線および橋梁等施設位置図形には調書データとのリンクが図れるよう ID コードを付すものとする。

記載事項は下記の項目とする。

- 1) 路線（国道、県道、村道（路線等級別）、林道、作業道）
- 2) 起点終点記号
- 3) 路線番号
- 4) 路線名（国県道、林道）
- 5) 重用区間
- 6) 延長

- 7) 橋梁位置
- 8) 橋梁名
- 9) 橋長
- 10) トンネル位置
- 11) トンネル名
- 12) トンネル長
- 13) 踏切位置
- 14) 踏切名
- 15) 踏切長

(不明確認・修正)

第38条 認定路線網図・橋梁等施設の入力時に発覚した路線の不整合、経路不明等についてとりまとめ、監督員に報告し、その指示に基づき修正を行うものとする。

(管理機能カスタマイズ)

第39条 管理機能カスタマイズは、発注者のデータ運用に合わせ、管理機能の改修を行うものとする。機能改修の詳細については監督員と協議の上決定するものとする。

(システムデータ構築)

第40条 システムデータ構築は数値化した調書データをGISヘデータベースとして搭載・構築を行うものとする。また、背景図として利用する航空写真、地形図、筆界図等について現行データまた変換等を行い、GISの背景図として利用するデータの構築を行うものとする。

(データ構造化)

第41条 データ構造化は認定路線網図、橋梁等データと調書データのリンクを行うとともに、背景図および路線網図等のデータをレイヤー構造としてGISで運用可能なデータとして構成するものとする。

## 第6章 道路台帳図数値化整備

(要旨)

第42条 道路台帳図数値化整備は共用空間地図データを背景として、既存道路台帳図に記載されている台帳要素を基に、デジタル化を行うものとする。取得データについては、監督員と協議のうえ決定するものとする。

また整備する道路台帳図データは、道路台帳図データ整備製品仕様書の作成を行うものとする。

(計画準備)

第43条 計画準備は、道路台帳図データ及び道路台帳調書作成に必要な資料を収集し、後続作業に必要な資料・とりまとめを行うものとする。

(基図データ作成)

第44条 基図データ作成は、作成された基盤地図電子化データを基に、道路台帳調書作成に必要な道路中心と区間を既存道路台帳測定基図からデジタル化し、区間ごとに属性データを取得し編集図作成を行うものとする。

編集図作成は、既存道路台帳図に表記されている道路台帳項目を合わせて編集図を作成を行う。

また測定基図に記載する項目は道路台帳図に表記されているものとし、区間延長計測のための中心線及び測定された各区間の延長・面積等の情報を記載し、道路台帳調書の基礎資料とする基図データ作成は、既存道路台帳図を基に、編集図作成及び編集図スキャニング作業を行うものとする。

(台帳図要素入力)

第45条 台帳図要素入力、スキャニングした基図データを基に数値化を行うものとする。

取得するデータは道路台帳図に表記されている以下のデータを取得するものとする。

- ① 行政界及びブロック界
- ② 道路区分
- ③ 路線番号
- ④ 路線名称
- ⑤ 起点・終点



- ⑥ 道路幅員
- ⑦ 側溝種別
- ⑧ 路面種別
- ⑨ 縦断勾配
- ⑩ 曲率半径
- ⑪ 橋梁及び鉄道との交差
- ⑫ 歩道の植樹施設
- ⑬ 安全施設
- ⑭ その他調書作成に必要な箇所

その他取得データについては、発注者・受注者協議のうえ決定するものとする。

(台帳データ要素入力)

第46条 台帳データ要素入力、道路中心線データから、路線・区間ごとに属性データ取得し、道路種別、路線名称及び路線番号等を付与します。

なお、取得する項目については、道路法、国土交通省道路施設現況調査要領、地方交付税算定用の基礎数値を村が管理する各種帳票を所定の形式で演算処理ができるようにデータ取得を行うものと

(道路情報属性データ構築)

第47条 道路情報属性データ構築、入力された道路台帳図データ(台帳図要素データおよび台帳データ要素入力)と道路台帳調書(数値データ)を基に個々の図形情報が点、線、面の認識を持つように処理を行います。また各図形間の接続関係、連続性、グループ化等の構造化処理を行い、図形データおよび属性データの整合性をとり矛盾が生じないよう作業を行います。

データベースソフトを利用して入力を行い、道路台帳図データベース化として取りまとめるものとする。

(地図データ作成)

第48条 地図データ作成は、既存の地籍調査及び地番図データを基にGIS用に使用する形でデータの作成をするものとする。

## 第7章 道路台帳図作成

(要旨)

第49条 道路台帳図作成は、白馬村の村道認定路線について、道路の管理保守の効率化、適正化を図るため、道路法(昭和27年法律第180号)第28条に基づく道路台帳整備を実施するものとする。

(目的)

第50条 本仕様書は、事業の基本となる事項を定めるもののほか次の5項目を目的とする。

- (1) 道路法同法施行規則(昭和27年建設省令第25号)の規定に基づき道路管理者としての道路の維持管理を、容易に遂行できうるものであること。
- (2) 地方交付税が適切に交付され得るものであること。
- (3) 道路施設現況調査提要(国土交通省道路局)で義務づけられている報告要件が具備されているものであること。
- (4) 長野県の指導に適するものであること。
- (5) 村全体の共有財産として広く活用できうるものであること。
- (6) 道路の加除補正が速やかに遂行できうるものであること。

(資料の収集及び整理)

第51条 認定路線の照合、確認を行なうため、下記の資料を収集整理する。

- (1) 道路台帳施設データ(SHAPEデータ)
- (2) 認定路線網図
- (3) 村道認定議会資料
- (4) 設計図及び工事竣工図
- (5) 地形図
- (6) その他必要な資料

(路線照合及び路線確認)

第52条 前条により整理した資料をもとに地形図を基図として、現認定路線と航空写真判読による現況道路を比較照合して路線照合及び路線確認を行い、不整合箇所を明らかにする。

(仮認定路線調書作成)

第53条 仮認定路線網図上で、路線毎に延長を測定し仮認定路線調書を作成するものとする。

(再編成区分)



第54条 現認定路線の実態に基づき、再編成区分に従い実施するものとする。

- (1) ブロック区分

- (2) 1級・2級・その他路線の種別
- (3) 路線番号
- (4) 路線の起点及び終点
- (5) 路線の統合分割
- (6) 不明路線の取扱い
- (7) 新認定路線の認定基準
- (8) その他

(路線網図作成)

第55条 認定路線網図は、地形図上に、下記の区分に従って入力し作成するものとする。

- (1) 一級認定路線
- (2) 二級認定路線
- (3) その他認定路線
- (4) 路線番号
- (5) 起点 (  印 ) ・ 終点 (  印 )
- (6) ブロック割・名称

(道路台帳図作成)

第56条 道路台帳図とは、路線の再編成作業により決定された路線について現地測定等を行い、測定基図上に調書作成に必要な各種事項を盛り込み、道路台帳図を作成する作業をいう。

(道路台帳調査)

第57条 道路台帳調査とは、道路台帳作成に必要な次の事項を現地において調査、測定する作業をいう。

- 1) 車道の幅員は50cm以上変化する箇所ごとに車道幅員
- 2) 路面の種類 (コンクリート・アスファルト・砂利道等)
- 3) 道路構造物
  - 車道、歩道及びその舗装種別、幅員、分離帯、側溝の種類
  - 橋梁 (名称、橋種、幅員、延長)
- 4) 道路附属物
  - 歩道橋 (名称、幅員、延長)、街路灯境界石、駒止め
  - 防犯灯、並木樹、道路修理用材料置場等
- 5) 道路占用物
  - 電柱の位置及び種別、アーチ、アーケード、ポスト、電話ボックス、信号機、マンホール (直径60cm以上) 消火栓、水路
- 6) 道路と効用を兼ねる主要な他の工作物
  - 堤防、護岸、踏切道、土留等

(道路台帳図作成)

第58条 道路台帳図 (測定基図) の調整は、道路法に基づく内容を書き記載事項に基づき図上で中心線を計測し、幅員、区間表示、区間番号等を編集し、編集機器により所定のコードにて入力を行い、道路台帳平面図データとの整合を行い作成するものとする。

- (1) 村町村、大字及び字の名称及び境界線
- (2) 車道の幅員が50cm以上変化する箇所ごとにおける当該箇所の車道の幅員及び道路部の幅員
- (3) 曲線半径 (30メートル以上のものを除く。)
- (4) 縦断勾配 (8パーセント未満のものを除く。)
- (5) 路面の種類
- (6) トンネル、橋及び渡船施設並びにこれらの名称
- (7) 自動車交通不能区間 (幅員、曲線半径、勾配その他の道路の状況により最大積重量4トンの貨物自動車が通行することができない区間をいう。)

- ( 8 ) 道路元標その他主要な道路の付属物
- ( 9 ) 道路と効用を兼ねる主要な他の工作物
- ( 1 0 ) 交差し若しくは接続する道路又は重複する道路並びにこれらの主要な物の種類及び名称
- ( 1 1 ) 交差する鉄道又は新設軌道及びこれらの名称
- ( 1 2 ) 軌道その他主要な占用物件
- ( 1 3 ) 調整の年月日
- ( 1 4 ) 起終点の記号(起点 ● 印・終点 ➡ 印) 及び路線番号
- ( 1 5 ) 側溝の種類
- ( 1 6 ) 橋梁、跨線橋と区分線
- ( 1 7 ) 重用区間、未供用区間
- ( 1 8 ) その他必要とする事項

(道路台帳調書作成)

第 5 9 条 道路台帳調書作成は、道路法、国土交通省・総務省の法的根拠に基づく調書及び発注者が道路管理上必要な調書のデータを作成する作業をいう。

(データ処理)

第 6 0 条 区間設定された道路台帳データより、道路面積及び延長を算出するに必要な座標値を、規定のコード及び仕様に基づき設定を行なう。

計算処理は、座標測定データを電子計算機に入力し、延長、面積、その他のデータをデータ仕様に基づき処理を行なう。

2. 各データはメディア (DVD等) に保存し、現況変化の対し補正が可能であるよう保存する。

(調書作成)

第 6 1 条 調書は道路法、村独自の管理用の各調書様式に従い、指定の道路台帳データシート出力を行なうものとする。本業務で電子化されたデータも含めて、電子計算機を用いて統合・計算処理を行うものとする。集計については、認定路線すべてを含むデータを単路線やブロック単位ではなく、一括処理できる調書システムとするものとする。なお、市販の表計算ソフト等による補正更新年度ごと対象路線のみの計算処理は認めないものとする。

記載する事項は下記の通りとする。

- ( 1 ) 道路の種類
- ( 2 ) 路線名
- ( 3 ) 路線の指定又は認定の年月日
- ( 4 ) 路線の起点及び終点
- ( 5 ) 路線の主要な経過地
- ( 6 ) 供用開始の区間及び年月日
- ( 7 ) 路線 (その管理に係る部分に限る) の延長及びその内訳
- ( 8 ) 道路の面積及びその内訳
- ( 9 ) 最小車道幅員、最小曲線半径及び最急縦断勾配
- (10) 鉄道又は新設軌道との交差の数、方式及び構造
- (11) 道路と効用を兼ねる主要な他の工作物の概要
- (12) 軌道その他主要な占用物件の概要
- (13) その他必要とする事項

帳票の種類は次による。

\*道路法に準拠した調書

- (ア) 道路台帳 (第 1 表)
- (イ) 実延長調書 (第 2 表)
- (ウ) トンネル調書 (第 3 表)
- (エ) 橋調書 (第 4 表)
- (オ) 鉄道等との交差調書 (第 5 表)

\*道路現況調査提要に準拠した調書

- (ア) 道路現況 (総括) 台帳
- (イ) 道路現況 (部分自歩道) 台帳
- (ウ) 橋梁現況台帳
- (エ) トンネル現況台帳
- (オ) 踏切道路台帳

\*地方交付税に関する調書

- (ア) 道路橋梁異動調書

- (イ) 道路橋梁路線別調書
- \*その他管理調書
  - (ア) 道路現況調書
  - (イ) 実延長面積調書
  - (ウ) 橋梁総括表（台帳及び写真）
  - (エ) トンネル総括表（台帳及び写真）
  - (オ) 鉄道等との交差総括表（台帳及び写真）
  - (カ) 村町村道路現況調査（更新）表
  - (キ) 議会用資料
  - (ク) 異動表

（道路台帳網図作成）

第62条 既存のDM2500・10,000レベルの地形図データ上に道路台帳図データより下記データを移行して、道路台帳管路網図を作成する。

〔データ取得事項〕

- 1) 道路中心線データ
- 2) 起終点記号
- 3) ブロック境界線
- 4) 路線番号
- 5) 路線名（表形式で表示）
- 6) 道路台帳図図郭及び図郭番号

## 第8章 管理システムソフトウェア購入及びシステム構築

（管理システムソフトウェア購入及びシステム構築）

第63条 管理システムソフトウェア購入及びデータ構築は、以下のとおりとするが、データ構築をしたデータ等については、本事業で購入予定である統合型GISサーバに搭載を行うものとする。また既存の総務課で稼働している「K-MAST Big Town. NET版統合型GIS」に搭載されているデータに関しても、移行するものとし、新サーバに搭載を行えるよう調整を行い、搭載するものとする。

道路台帳管理システムソフトウェアの搭載を行い、本業務で作成された道路台帳図データを建設課での閲覧可能なシステムとするため、発注者のネットワークを利用してWeb型GISとしての再構築を行い、一元管理運用が出来る形での納品とするものとする。

受注者は、現行システムからの移行に関して必要な調整を行い、システムライセンス並びにデータ移行に関する計画を立案し協議するものとする。そのため、新規でのライセンスの購入はしないものとする。データ移行は、現行システム搭載のすべてのデータを更新するものとする。データ移行のデータについては下記のとおりとする。

- ① 搭載地図 「別紙1のとおりとする。」
- ② 基本機能 「別紙2のとおりとする。」
- ③ 既存GIS搭載管理機能も管理運用が可能なものとする。 「別紙3のとおりとする。」

お絵かきデータについては、作成されているデータの精査を行い、更新システムに移行するデータを決定したうえで作業を行うものとする。

（システムインストール）

第64条 前条までに作成したデータをはじめ、データファイル、プログラムファイル及び道路台帳管理システムの運用ソフトウェアについて、成果品の納入に合わせ、発注者の指示する端末にシステム及びデータのセットアップを行うものとする。また、事前にセットアップする端末の性能、仕様等を確認するものとする。

（操作研修）

第65条 受注者は予めソフトウェア等に添付されているマニュアルの他に、本システム操作について管理者及びユーザーが初めて操作する場合でも理解できるよう、わかりやすい操作マニュアル（職員に公開するためのPDFファイル形式で格納された電子媒体）を作成し提出を行うものとする。

上記マニュアルを作成後、多くの職員がシステムを利活用できるよう実施するものとする。

また、操作研修は下記のとおり実施するものとする。

- (1) 管理者向け研修：管理マニュアルを準備し本システム全体の説明
- (2) 利用者向け研修：基本マニュアルより基本機能、応用機能の説明
- (3) 操作研修は、集団研修方式により実施するものとする。
- (4) 会場及び準備可能な機材は発注者が用意するものとする。
- (5) 詳細な内容及び日程は、発注者、受注者協議の上決定するものとする。

## 第9章 道路情報管理システム

（道路情報管理システム）

第 6 6 条 本作業で構築するシステムは下記の仕様にに基づき構築するものとする。

(1) システム基本仕様

導入するシステムは、将来的な庁内情報の一元化および横断的な利用を見据え、本事業で購入する統合型 GIS サーバに地図及び属性データを管理できるよう、本事業で作成したデータの運用にも対応可能なシステムとすること。

また、利用環境にある使用者全てが共通の機能を使用できる基本機能(地図管理機能)と業務管理担当者など一部の利用者が使用する管理機能から構成される連動型システムとし、管理機能についてはログインパスワード等によりセキュリティ管理が可能なものとする。

(2) 管理機能（道路台帳管理機能） 「別紙 4 のとおりとする。」

第 1 0 章 道路台帳 GIS 用データ作成

(要旨)

第 6 7 条 道路台帳 GIS 用データ作成は、本業務で作成されたデータを GIS 用データの作成を行うものとする。  
(データ作成)

第 6 8 条 データ作成は、GIS 用データとして、G B . N E T データ形式及び S h a p e データ形式で納品を行うものとする。

第 1 1 章 機器等購入

(ハードウェア等購入)

第 6 9 条 本業務にて構築される道路台帳管理システム及び既に稼働を行っている GIS システム等を稼働させる端末（サーバー機）は、システムの稼働に十分なスペックのものとし、発注者が推奨するスペック以上の下記の機器及びソフトウェアを受注者が本業務にて調達するものとする。

(1) ハード機器

サーバー機：1 台

| 項目      | 詳細                                  |
|---------|-------------------------------------|
| OS      | WindowsServer 2025 スタンダード           |
| CPU     | インテル®Xeon 6 同等以上                    |
| メモリ     | 32GB                                |
| ストレージ容量 | RAID 5 2TB S                        |
| UPS     | 1 台                                 |
| 保証      | 7 年保証（ProSupport 翌営業日対応オンサイト保守サービス） |

(2) ソフトウェア

GIS サーバ用ソフトウェア

| 項目                            | 詳細  |
|-------------------------------|---|
| Microsoft SQL Server 2022     | Express エディションを使用<br>サーバ用端末のファイヤーウォールに以下の設定を追加<br>受信 ポート 1433 プロトコル TCP<br>受信 ポート 1434 プロトコル UDP<br>受信 プログラム SQL Server |
| Internet Information Service  | Windows 11 Pro の機能<br>GIS データを配信するために使用   |
| SafeNet Authentication Client | GIS ソフトウェアを配布するための証明書を適用するツール   |
| Sentinel System Driver        | GIS ライセンス USB キーを認証するために使用  |

GIS ライセンス

| 項目          | 詳細                  |
|-------------|---------------------|
| 道路台帳管理ライセンス | 2 本 (BigTown.NET 版) |

第 1 2 章 公開型 G I S 構築

(要旨)

第 7 0 条 発注者が保有する地図情報、位置情報をパソコンやスマートフォンから 2 4 時間 3 6 5 日、住民や事業者が閲覧できる公開型 G I S を構築し、行政サービス向上かつ窓口業務の負担軽減を図るものとする。  
搭載データの追加、更新を行うため、データ追加や機能拡張が容易なシステムを構築するものとする。

地域未来交付金デジタル実装型（TYPEA）を活用するため、デジタル庁が交付しているモデル仕様書に準拠しているものとする。

（基本要件）

第71条 基本要件は、公開型GISとして構築するシステムは、以下の要件を満たすものとする。

- （1） システム形態 クラウド（ASP）方式
- （2） ライセンス数 同時アクセス制限なし
- （3） 利用環境 パソコンのほかに、スマートフォン向けシステムも提供できるものとする。
- （4） システム等要件 別紙「モデル仕様書（公開型GIS）」のとおりとする。
- （5） その他の基本事項
  - ① 利用者にとって簡便でわかりやすい操作体系と機能の配置により、マニュアルに頼らなくても利用可能なインターフェイスを有するものとする。
  - ② 関係図書が法令等で定められている情報の配信においては、その印刷様式に則った正確な色表現、ライン及びハッチングパターンを設定できるものとする。
  - ③ 利用期間中は、随時ソフトウェアのバージョンアップを行い、最新版を提供するものとする。
  - ④ 利用ログを取得、管理及び分析することにより、問題の検知や発生有無を判断できるものとする。
  - ⑤ システムの構築、運用及び保守作業のすべてを、受注者の管理下において直接行うものとする。
  - ⑥ 搭載データは以下のとおりとする。
    1. 道路台帳図
    2. 上下水道台帳網図
    3. ハザードマップ
    4. 景観計画エリア図
    5. 行政区画図
    6. 都市計画区域界
    7. 立地適正化計画区域図
    8. 建築形態規制図

（導入）

第72条 受注者は、令和9年3月までにシステムの運用を開始するものとする。

（導入支援）

第73条 受注者は、システム導入にあたり、以下の支援を実施するものとする。

- ① 仮運用  
本運用前に仮運用期間を設け、障害事項・要望事項を整理したうえで、カスタマイズやデータ加工を要さない範囲で、必要な調整を行うものとする。
- ② テスト  
運用にあたり、事前にテストサイトを構築し、非公開による内部検証用の地図配信を行い、発注者の確認を受けるものとする。関係者以外のアクセス防止をするために、ID及びパスワードによる認証機能を設定するものとする。
- ③ 操作研修  
システム管理者となる村職員に対して、操作研修を行うものとする。
- ④ マニュアル作成  
各システムの運用にあたり、以下のドキュメント類を作成するものとする。
  - 1) 操作マニュアル
  - 2) 運用マニュアル（日常の運用方法や緊急時の連絡先等を記載したもの）

### 第13章 納入成果品

(納入成果品)

第74条 納入成果品は、下記のとおりとする。

#### 道路台帳図関係

道路台帳図 (1/2,000 縮小版製本) 2組

道路台帳網図 1/10,000 1部

#### 道路台帳図データ

(ア) 台帳調書データ 1.0式

(イ) 道路中心線及び起終点ベクトルデータ (1/1,000) 1.0式

(ウ) 道路台帳要素ベクトルデータ (1/1,000) 1.0式

#### 路線の確認整理及び再編成

(ア) 認定路線網図 1.0式

#### 道路台帳調書関係

##### 道路法に準拠した調書

(ア) 道路台帳 1.0式

(イ) 実延長調書 1.0式

(ウ) 橋調書 1.0式

(エ) 鉄道等との交差調書 1.0式

(オ) トンネル調書 1.0式

##### 道路現況調査提要に準拠した調書

(ア) 道路現況 (総括) 台帳 1.0式

(イ) 道路現況 (部分自歩道) 台帳 1.0式

(ウ) 橋梁現況台帳 1.0式

(エ) トンネル現況台帳 1.0式

(オ) 踏切道路台帳 1.0式

##### 地方交付税に関する調書

(ア) 道路橋梁異動調書 1.0式

(イ) 道路橋梁路線別調書 1.0式

##### その他管理調書

(ア) 道路現況調書 1.0式

(イ) 実延長面積調書 1.0式

(ウ) 橋梁総括表 (台帳及び写真) 1.0式

(エ) トンネル総括表 (台帳及び写真) 1.0式

(オ) 鉄道等との交差総括表 (台帳及び写真) 1.0式

(カ) 道路現況調査 (更新) 表 1.0式

(キ) 議会用資料 1.0式

(ク) 異動表 1.0式

(ケ) 調書属性データ (DVD) 1.0式

\*白馬村道路台帳整備要領 (メタデータ整備要領を含む)

#### 道路台帳管理システム導入

(ア) 道路台帳管理システムソフトウェア 2本

(イ) 路台帳管理システム操作マニュアル (システムにも搭載) 1.0式

#### 統合型GIS

(ア) 統合型GISサーバ 周辺機器等 1台

#### 公開型GIS

(ア) 公開型GISサービス (ArcGIS サービス) 1本

(イ) 公開型GISサービス (ArcGIS サービス サービスクレジット 1000 クレジット  
ット)

(ウ) システム操作マニュアル 1.0式

#### 業務計画書

1.0式

#### 打合せ記録簿 (2部)

1.0式

#### その他発注者が必要と認めるもの

1.0式

以上

## 別紙 1「搭載データ一覧表」

|                      |
|----------------------|
| <b>背景図</b>           |
| 索引図                  |
| 数値地図(地図画像)(1:200000) |
| 数値地図(地図画像)(1:25000)  |
| 基盤地図情報(1:25000)      |
| <b>航空写真</b>          |
| 航空写真(H25)            |
| 航空写真(H28)            |
| 航空写真(R4)             |
| 航空写真(R5災害対応)         |
| <b>地形図</b>           |
| 地形図1:10000(北側)(ラスタ)  |
| 地形図1:10000(南側)(ラスタ)  |
| 地形図1:10000           |
| 地形図1:2500            |
| 地形図1:1000            |
| 住宅地図                 |
| <b>空間情報</b>          |
| 市町村行政界               |
| 地番図                  |
| 国土調査図                |
| 道路台帳図                |
| 道路台帳現況図              |
| 路線網図                 |
| 施設位置図                |
| 立地適正化計画(誘導区域)        |
| <b>防災マップデータ</b>      |
| 境界                   |
| 施設など                 |
| 浸水想定区域               |
| 土砂災害警戒区域等            |
| 土地分類基本調査の地形分類図       |
| 微地形区分図(50mメッシュ単位)    |
| 微地形区分図(250mメッシュ単位)   |
| 増幅度分布図(50mメッシュ単位)    |
| 増幅度分布図(250mメッシュ単位)   |



|   |
|---|
| 糸魚川-静岡構造線断層帯の地震(全体)による震度分布図(50mメッシュ単位)  |
| 糸魚川-静岡構造線断層帯の地震(全体)による震度分布図(250mメッシュ単位) |
| 全建物棟数分布図(50mメッシュ単位)                     |
| 木造建物棟数分布図(50mメッシュ単位)                    |
| 非木造建物棟数分布図(50mメッシュ単位)                   |
| 1980年(昭和55年)以前の木造建物割合分布図(50mメッシュ単位)     |
| 建物全壊率分布(50mメッシュ単位)                      |
| 建物全半壊率分布(50mメッシュ単位)                     |
| 液状化危険度分布(250mメッシュ単位)                    |
| <b>景観計画(エリア)</b>                        |
| 一般地域                                    |
| 重点地区                                    |
| <b>景観計画(色彩)</b>                         |
| 色彩エリア                                   |
| 都市計画情報                                  |
| 行政区画図                                   |
| <b>図郭</b>                               |
| 地形図1:10000 図郭枠                          |
| 地形図1:2500 図郭枠                           |
| 道路台帳図 図郭枠                               |
| 上水道 図郭枠                                 |
| 下水道                                     |
| <b>管理機能用</b>                            |
| <b>都市計画基礎調査</b>                         |
| 都市計画基礎調査用背景図(R5)                        |
| 土地利用現況図(R5)                             |
| 緑地現況図(R5)                               |
| 建物用途別現況図(R5)                            |
| 土地利用現況図(H30)                            |
| 緑地現況図(H30)                              |
| 建物用途別現況図(H30)                           |
| 非可住地位置図(H24)                            |
| 農地・山林現況図(H24)                           |
| 植生現況図(H24)                              |
| 都市計画区域                                  |
| <b>上水道管理</b>                            |
| 管渠                                      |

|               |
|---------------|
| 給水管           |
| 弁栓            |
| 量水器           |
| 配水施設          |
| 水源            |
| その他(上水道)      |
| 管渠注記          |
| 給水管注記         |
| 弁栓注記          |
| 量水器注記         |
| 配水施設注記        |
| <b>下水道管理</b>  |
| 管渠(下水道)       |
| 人孔            |
| 枿             |
| 取付管           |
| 施設類           |
| 副管            |
| オフセット         |
| その他           |
| 人孔番号注記        |
| 管渠注記(下水道)     |
| 人孔注記          |
| 枿注記           |
| 施設類(注記)       |
| <b>道路台帳管理</b> |
| 市区町村道         |
| 国道            |
| 一般県道          |
| 主要地方道         |
| 起終点           |
| 台帳要素注記        |
| <b>道路台帳網図</b> |
| 国道            |
| 主要地方道         |
| 一般県道          |
| 市区町村道         |

|             |
|-------------|
| 路線注記        |
| 区間割         |
| 幅員          |
| 舗装          |
| 曲率半径        |
| 勾配          |
| 起終点         |
| 説明注記        |
| 道路施設注記      |
| 位置指定道路      |
| 開発道路        |
| 2項道路        |
| 説明注記        |
| 地形図1:2500(道 |
| 地形図1:1000(道 |
| 既成図数値化1:10  |

## 別紙 2 「現行システム機能一覧」

### 【基本地図処理機能】

| 機能       | 機能分類     | 機能説明   |
|----------|----------|--|
| 表示       | メインビュー   | 全ての作業においてメインとなるウィンドウ<br>初期画面時での表示は、塩尻市役所が画面中心にくるようにする。             |
|          | サブビュー    | 補助的な背景図表示ウィンドウ   |
|          | 索引図      | 区域全体を表示し、メインビューの表示位置を表示<br>索引図からの移動、拡大も可能                          |
|          | 表示背景図切替え | 自動切替え、ユーザー切替え（メインビュー、サブビュー）  |
|          | レイヤ切替え   | 任意の背景図の表示・非表示切替え（メインビュー、サブビュー）                                     |
| 画面操作     | 拡大・縮小    | 範囲指定拡大、画面中心拡大縮小、任意の縮尺指定表示  |
|          | 画面移動     | ドラッグ方式、自動ドラッグ方式、八方向スクロール方式   |
| 計測       | 延長計測     | 表示地図上で任意の区間の実距離を計測   |
|          | 面積集計     | 表示地図上で任意の実面積を計測  |
|          | 延長・面積計算  | 任意の点又は最寄りの線上並びに点上より計測可能とする   |
|          | 結果表示     | 計測結果は区間延長及び総延長（総面積）を表示   |
|          | 結果記録     | 計測結果のCSV形式でコピー及び画面イメージ保存   |
| 検索       | 地番図検索    | 地番図検索  |
|          | 家屋図検索    | 家屋図検索  |
|          | 都市計画情報検索 | 都市計画情報検索   |
|          | 道路台帳図検索  | 道路台帳図情報検索（路線番号のみ）  |
|          | ジャンプ機能   | 町丁目名、目標物、図郭番号、索引図等から目的地を検索・表示                                      |
|          | 図面切出し    | 表示された地図のイメージを他アプリケーションへ切出し、画像ファイルとして保存も可能とする                       |
| 編集加工     | 属性付加     | 作成した図形に属性情報を付加し、フォームを自由に設定することが可能とする                               |
|          | ファイル添付   | 属性情報に関連するファイル添付が可能とする  |
|          | データ保存    | 作成したデータはサーバーに保存され、パスワード等により権限を持たせ、保存・管理が可能とする                      |
|          | 表示範囲印刷   | 画面に表示された範囲の出力が可能であること  |
| 印刷       | 印刷指定範囲   | 任意の範囲を指定し出力が可能であること  |
|          | 縮尺指定印刷   | 任意の縮尺を指定し出力が可能であること  |
|          | 整飾作成機能   | 文字、シンボル、記号等が自由に入力、配置可能で、四隅座標表示、索引図添付が可能であること<br>誰が印刷したか分かる機能を有すること |
|          | ヘルプ機能    | 操作方法を検索できること   |
| 地図データ入出力 | 入出力      | 地図データを Shape 形式で入力することができること                                       |
|          |          | 地図データを Shape 形式で出力できること  |

### 別紙 3 「既存GIS搭載管理機能一覧」

#### 【上水道台帳システム基本機能】

|               |              |   |
|---------------|--------------|---|
| 上水道台帳<br>管理機能 | 種別設定         | 入力する種別の設定、設定された種別の図形、線の登録                             |
|               | 属性情報管理       | 管渠の管種、延長、施工年等の情報の表示                                   |
|               | 属性情報入力       | 属性データの編集、入力した図形等の属性情報の登録                              |
|               | 表示情報設定       | 地図上に表示されている表示物を情報別に色分け設定                              |
|               | 検索機能         | 属性データ、任意範囲指定、検索結果等からリスト表示及び図面表示                       |
|               | 上水道台帳の調書表示機能 | 上水道台帳の調書の表示、印刷  |
|               | 管渠集計         | 属性情報から指定した任意の管渠の延長集計CSV出力                             |
|               | 断水シミュレーション機能 | 管渠、弁栓、量水器の断水箇所を指定し、その箇所が漏水、破損した際に影響する管渠、量水器及び閉じる弁栓を表示 |
| 資産台帳<br>管理機能  | 上水道の資産台帳表示   | 資産台帳の表示   |
|               | 減価償却履歴の管理    | 資産の減価償却の経過状況、履歴の確認                                    |
|               | 除却履歴の管理      | 資産情報を検索の際に除却フラグを設定<br>検索結果の一覧で除却フラグの該当データの表示          |
|               | お絵かき         | 地図上に任意図形の作成   |
|               | 図形編集         | 地図上のアイコン、図形の追加、編集                                     |
| その他           | ファイリング       | 画像データの表示、追加、削除  |

【下水道台帳システム基本機能】

|               |               |                                   |
|---------------|---------------|-----------------------------------|
| 下水道台帳<br>管理機能 | 種別設定          | 入力する種別の設定、設定された種別の図形、線の登録         |
|               | 属性情報管理機能      | 下水道区分、処理区、管渠種類等の情報の表示             |
|               | 属性情報入力        | 独自項目として属性情報の追加、編集                 |
|               | 表示情報設定        | 地図上に表示されている表示物を情報別に色分け設定          |
|               | 検索機能          | 属性データ、任意範囲指定、検索結果等からリスト表示及び図面表示   |
|               | 付加情報の表紙       | 選択した属性の工区情報、資産情報を表示               |
|               | 下水道台帳の調書表示機能  | 下水道台帳の調書の表示、印刷                    |
|               | 下水道縦断図ビューアー機能 | 地図上の管渠から任意選択した管渠の縦断図を表示           |
| 表示物<br>追加、編集  | お絵かき          | 地図上に任意の属性表示                       |
| その他           | 集計機能          | 管渠属性リストに表示されている指定の項目の集計の表示、CSV 出力 |
|               | グループ化         | 図形、属性情報のグループ化設定                   |

【都市計画管理情報システム基本機能】

|                  |                            |  |
|------------------|----------------------------|--|
| 都市計画<br>管理機能     | 都市計画基礎調査調書表示機能             | 都市計画基礎調査結果の調書表示                          |
|                  | 都市計画基礎調査報告書表示機能            | 都市計画基礎調査結果の報告書表示                         |
|                  | 都市計画基礎調査データリスト及び<br>図面表示機能 | リスト及び図面表示                                |
|                  | 図形要素指示から属性表示機能             | 図形要素指示から属性表示                             |
|                  | 使用可能なファイル形式への出力機能          | 属性一覧表を他のアプリケーションで使用可能なファイル形式への出力         |
|                  | 検索機能                       | 属性データ、任意範囲指定、検索結果等からリスト表示及び図面表示          |
|                  | 集計リスト作成                    | 土地利用現況、建物、用途地域毎の種類別の集計リスト作成              |
|                  | 都市計画法入力支援                  | 都市計画法に関する申請書類入力                          |
| 都市計画基礎調査<br>管理機能 | 年代別レイヤ管理                   | 基礎調査の図面を年代別にレイヤ別管理                       |
|                  | 属性表示                       | 調査項目の属性表示                                |
|                  | 範囲集計機能                     | 範囲集計から集計したい項目にチェックを入れ、画面上で指定された範囲内の項目を集計 |
|                  | 分布図設定                      | 地図上で表示されている家屋や用途地域の表示スタイルの設定、属性情報別に色分け設定 |
| 都市計画法<br>管理機能    | 都市計画法情報の表示                 | 都市計画情報の表示                                |
|                  | 属性情報入力                     | 独自の項目として属性情報の追加、編集                       |
|                  | 台帳の表示                      | 登録済みの台帳の表示                               |
|                  | 都市計画法台帳作成                  | 都市計画法台帳の新規作成                             |
|                  | 台帳の更新                      | 作成、登録した台帳の項目更新                           |
|                  | 地図出力                       | 属性情報から表示させたい項目を選択し出力                     |
| その他              | CSV 出力                     | 選択した任意の項目をリストにして CSV 出力                  |

## 別紙 4 「管理機能（道路台帳管理機能）」

### 【道路台帳管理システム基本機能】

| 機能           | 機能説明  |
|--------------|---|
| ユーザ認証機能      | ユーザIDとパスワードによるユーザ認証機能   |
| 施設情報         | 表示できる施設情報の一覧  |
|              | 施設の属性ごとに色分けした分布図の一覧   |
|              | 画面上に表示したい施設情報及び分布図の指定   |
|              | 起点・終点写真の表示  |
| 属性表示         | 道路種別ごとに付与されている属性情報の表示   |
|              | 属性情報の編集は管理者等の権限ユーザーであること  |
|              | 連続選択による路線等の表示   |
| 属性検索         | 道路種別ごと施設類に付与されている属性情報の検索機能  |
|              | 画面上の範囲指定による検索   |
|              | 抽出条件検索による検索   |
|              | 検索結果をCSV形式・Excel形式で保存   |
| 集計           | 属性情報の集計が出来ること   |
| インポート・エクスポート | 道路種別の属性情報をCSV形式でエクスポート又はインポートが行えること   |
|              | 本システム以外のCSV形式でもインポート・エクスポートが可能であること   |
|              | エクスポートしたデータを修正し、地図へ表示可能とする  |
| 印刷機能         | 定型図面、任意範囲指定図面、道路台帳調書印刷  |
| 調書作成管理機能     | 橋調書、橋梁台帳、鉄道等との交差調書、鉄道等との交差台帳、道路台帳、路線認定調書、道路現況調書、実延長面積調書、道路基礎数値台帳、橋梁基礎数値台帳、歩道等設置道路延長の幅員別内訳、道路法、地方交付税対応、国土交通省現況調査対応 |
| 出力機能         | 誰が印刷したか分かる機能を有すること  |
| ファイリング機能     | Word、excel、画像データ等を地図に添付できること  |
| 台帳形式出力       | 道路台帳属性情報を台帳形式での出力ができること   |
| 独自項目設定       | 調書情報にない項目を独自項目として管理できること  |
| ラベリング        | 道路情報の属性情報を注記として発生させ保存ができること   |
| 窓口対応閲覧システム   | 窓口対応が可能な道路情報閲覧システム作成  |



モデル仕様書（公開型GIS）

■概要

公開型GISシステムは、地理的なデータを視覚化し、住民が地域情報にアクセスしやすくなるためのツールです。このシステムでは、地形、道路、公共施設の位置、災害情報などが地図上に表示されることで、行政が持つ情報の透明性や住民によるアクセス性の向上が期待できます。例えば、災害時の避難所や避難路情報をリアルタイムに提供することにより、住民の安全性向上と迅速な避難支援が期待でき、地域の危機管理能力の強化にも寄与します。

「機能分類体系」「要件」は自治体側で修正不可のため、セルをロックしています。「詳細要件・補足説明」の記入例を削除し、詳細要件を記載してください。  
「モデル仕様書推奨機能」の「必須機能」については、「※選択可」となっているものを除いて削除できません。「※選択可」となっている機能、また「今後拡張が望まれる機能」は、自治体側の要件に応じて任意に削除できます。削除は、エクセルの行の非表示でご対応ください。（非表示の際は、罫線が切れていないかご確認ください。）

↓自治体側で入力必須（調達時）↓

| モデル仕様書・要件定義 |                   |              |  |  | モデル仕様書<br>推奨機能 |                 |
|-------------|-------------------|--------------|--|--|----------------|-----------------|
| 機能分類体系      |                   |              | 要件   | 詳細要件・補足説明  | 必須機能           | 今後拡張が<br>望まれる機能 |
| 大項目         | 中項目               | 小項目          |  |  |                |                 |
| 基本事項        | サービス提供環境          | 機器環境         | 利用者及び管理者等の操作機器環境として、指定する機器環境に対応すること。   | ・必要に応じて利用端末（PC・スマホ等）、OS、ブラウザ等を指定すること<br><br>※OSやブラウザは、具体的なバージョンを指定するか、「正規サポート中（セキュリティパッチ等が提供されている期間内）のバージョンが搭載されている機器に対応」などを示すこと | ○              |                 |
|             |                   | ネットワーク環境     | サービスを提供するネットワーク環境及び通信経路の暗号化について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やネットワークセキュリティ面で問題ないことを示すこと。    | —  | ○              |                 |
|             |                   | データ管理        | データ管理環境について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。                           | ・データ管理環境を具体的に示すこと<br><br>※「サービス提供クラウド環境（データセンター内）は国内であること。」などを示すこと   | ○              |                 |
|             |                   |              | データのバックアップに関して指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。                        | ・バックアップサイクル、バックアップデータの保有期間を示すこと  | ○              |                 |
|             | 想定利用者数            | サービス利用人数     | 想定されるサービス利用人数は右記の通りとする。  | ・具体的な人数を示すこと   | ○              |                 |
|             |                   | 管理者機能利用人数    | 想定されるそれぞれの管理機能の利用人数は右記の通りとする。  | ・具体的な人数を示すこと   | ○              |                 |
|             | デザイン・操作性          | デザイン・操作性     | 表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。また、利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすい操作性が確保されていること。       | —  | ○              |                 |
|             |                   |              | 利用者に市区町村のサービスであることが伝わりやすい工夫がされていること。   | —  | ○              |                 |
|             |                   | アクセシビリティ     | 「JIS X8341-3：2016」等のアクセシビリティに配慮していること。   | ・適切なレベルを示すこと   |                | ○               |
|             |                   | 多言語対応        | 指定する言語に対応すること。   | ・必要な言語を示すこと  |                | ○               |
|             | データ移行             | —            | 現行システム（サービス）で保有するデータを、新システム（サービス）の初期データとして移行（登録）できること。   | ・具体的な移行データを示すこと  |                | ○               |
|             | サービス終了時・契約満了時等の対応 | 保有データの提供     | サービス開始後に利用者が入力した情報及び発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報（発注者が提供を希望する情報）については、契約終了時に全て抽出し発注者に提供可能とすること。 | —  | ○              |                 |
|             |                   | 保有データの消去等    | サービスを終了若しくはサービス利用契約終了後は、速やかにシステムから消去し、そのエビデンスの提出や報告を行うこと。  | —  | ○              |                 |
|             | 地図の種類             | —            | システムで使用する背景地図の種類は指定のとおりとすること。  | ・具体的な地図の種類を示すこと  | ○<br>※選択可      |                 |
|             | 利用規約等             | 利用規約への同意     | サービスの初回利用時やサービスに重要な変更を行った際には、利用者に利用規約の内容を提示し、確認（同意）を取ることができること。                                  | —  | ○              |                 |
|             |                   | プライバシーポリシー   | プライバシーポリシーを表示すること。   | —  | ○              |                 |
| サービス利用者向け機能 | トップページ            | トップページ等      | 利用者向けトップページが設置できること。   | —  | ○<br>※選択可      |                 |
|             | お知らせ機能            | お知らせ、新着情報の表示 | 新着情報や問い合わせ先等の情報を登録でき、トップ画面等利用者にわかりやすい位置に表示できること。   | —  | ○<br>※選択可      |                 |

|  |       |            |           |  |   |
|--|-------|------------|-----------|--|---|
|  | 利用者機能 | 利用者機能      | 操作説明      | 利用者に操作方法を示すことができること。   | — |
|  |       | スマートフォン対応  | 表示        | スマートフォンに最適化された画面表示ができること。ピンチイン、ピンチアウト、ドラッグなどスマートフォンの操作により地図操作を直感的に行えること。 | — |
|  |       | 管理者向け機能    | 管理者登録     | アカウント登録・設定   | — |
|  |       |            | アカウント認証方法 | 二段階認証または多要素認証方法（再認証も含む）にも対応すること。   | — |
|  |       |            | ロール設定     | 管理アカウントごとのロール設定ができること。   | — |
|  | 地図機能  | 統計機能       | —         | システム・サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で確認できること。                                   | — |
|  |       | 地図コンテンツの表示 | 背景図       | 地形図、航空写真、背景用民間地図等を背景図として表示できること。また、複数の背景図の切り替えができること。                    | — |
|  |       |            | 凡例表示      | 表示中のアイコン等に対する凡例を表示し、表示・非表示の切り替えができること。                                   | — |
|  |       |            | 2画面表示     | 異なる施設情報、地図コンテンツ及び背景図を選択した2種類の地図を同一画面内に並べて表示できること。                        | — |
|  |       |            |           | 並べて表示した地図について、拡大縮小や移動等の操作を連動できること。                                       | — |
|  |       |            | 主題情報      | 主題情報（施設情報や地図コンテンツ等）のレイヤと背景図を重ね合わせて地図に表示できること。                            | — |
|  |       |            |           | レイヤ単位及び属性情報の分類単位で表示・非表示の切り替えができること。                                      | — |
|  |       |            | 地物の属性表示   | テキスト情報などを属性情報としてアイコン、線レイヤ及び面レイヤと関連付けて設定できること。（事業者による対応でもよい。）             | — |
|  |       |            |           | 地図上のアイコン等を選択することで、属性情報を表示できること。  | — |
|  |       |            |           | 属性情報として数値、文字列、URLなどのデータ型を設定できること。  | — |
|  |       |            |           | URLについてはハイパーリンクとして表示できること。   | — |
|  |       |            |           | 画像ファイルについては、ダウンロードしなくとも画面上に直接画像を表示できること。                                 | — |
|  |       |            |           | 地図上の地物の属性一覧を表示できること。   | — |
|  |       |            |           | 属性一覧画面から地物を検索できること。  | — |
|  |       |            |           | CSV等で、地図に表示している地物の属性一覧を出力できること。また、利用者が出力項目等の設定が可能であること。                  | — |
|  |       | 地図の機能      | 拡大縮小      | 表示地図の縮尺を拡大・縮小できること。  | — |
|  |       |            |           | マウス操作により地図を拡大・縮小できること。   | — |
|  |       |            | 移動        | 地図を任意の方向に移動できること。  | — |
|  |       |            |           | マウス操作により地図を移動できること。  | — |
|  |       |            | 現在地表示     | 表示デバイスの位置情報を利用し、現在地を表示できること。   | — |
|  |       |            | 中心マーク表示   | 表示画面中心に中心を表すマークの表示・非表示切替ができること。  | — |
|  |       |            | 縮尺表示      | 表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示できること。   | — |
|  |       |            | 索引図表示     | 表示中の地図範囲を示した索引図を表示できること。また、索引図の表示・非表示の切り替えができること。                        | — |
|  |       |            |           | 索引図で指定した場所に地図表示を移動できること。   | — |
|  |       |            | URLによる共有  | 表示している地図の内容を表示できるURL、二次元コードを表示できること。                                     | — |
|  |       |            | 住所・目標物検索  | 住所情報による地図検索ができること。   | — |
|  |       |            |           | 住所の表記は、全角、半角および英数字、漢数字、日本語表記、「—」「—（長音）」による表示等、想定される住所表記に対して対応できること。      | — |

|           |   |
|-----------|---|
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○<br>※選択可 |   |
|           | ○ |
| ○<br>※選択可 |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○<br>※選択可 |   |
| ○<br>※選択可 |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |

|       |                                |  |   |
|-------|--------------------------------|--|---|
|       |                                | 目標物による地図検索ができること。  | — |
|       | 経緯度表示                          | 地図の任意地点の経度・緯度を表示できること。   | — |
|       | 経緯度検索                          | 経度・緯度を指定して位置が検索できること。  | — |
|       | ルート検索                          | 2地点間の最短経路を検索し、地図上に経路及び距離を表示できること。  | — |
|       | 印刷                             | 画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを印刷できること。属性情報や凡例をあわせて印刷できること。  | — |
|       |                                | 都市計画等一部の地図コンテンツについて、印刷する際の縮尺を予め指定したものに固定できること。   | — |
|       |                                | コピーライトや利用上の注意等、定型文を合わせて印刷できること。  | — |
|       |                                | 都市計画等一部の地図コンテンツについて、印刷する際のレイアウトを予め指定した独自の様式に変更できること。   | — |
|       | ファイル出力                         | 画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを画像ファイルとして出力できること。   | — |
|       | 計測                             | マウス操作により選択した距離、面積の計測が地図上で行えること。  | — |
|       |                                | 距離及び面積の計測中に縮尺の変更やスクロールができること。  | — |
|       |                                | 計測結果が表示されている状態で、印刷や地図の画像を保存できること。  | — |
|       | 作図                             | 地図上に一時的な図形（点・線・面等）を作成できること。  | — |
|       |                                | 一時的な図形を含めて印刷・画像出力できること。  | — |
| 地図の管理 | 主題情報のレイヤの表示                    | 図形情報に対応するポイント（点）、ライン（線）、ポリゴン（面）を表示できること。   | — |
|       |                                | レイヤごとに、表示する縮尺範囲を指定できること。   | — |
|       |                                | レイヤの表示順を設定できること。（事業者による対応でもよい。）  | — |
|       |                                | レイヤの色分け表示、ラベル表示を設定できること。（事業者による対応でもよい。）  | — |
|       |                                | ポイント（点）レイヤとして表示するアイコンはシステム標準のものを用意し、追加できること。   | — |
|       |                                | 背景図に対し、アイコンなどの表示項目の透過度が設定可能であること。  | — |
|       |                                | 線レイヤ及び面レイヤと属性情報で構成される地図コンテンツを表示できること。  | — |
|       |                                | 面レイヤは、枠線や塗りつぶし部分の種類、太さ、色、透過度等を変更できること。（事業者による対応でもよい。）  | — |
|       |                                | 図形（アイコンシンボル、線、面）の表示設定は、複数色、複数種類から選択できること。  | — |
|       |                                | 線レイヤは、線の種類や太さ、色、透過度等を変更できること。（事業者による対応でもよい。）   | — |
|       |                                | 属性情報の値に従い、ラベルを地図上に表示できること。   | — |
|       |                                | 属性情報の値（角度）に従い、ラベルやアイコンを回転してを地図上に表示できること。   | — |
|       | 管理者で公開データの登録する場合については指定の通りとする。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて具体例を示すこと。</li> <li>・登録データを事業者に引き渡し、事業者が登録を行う場合<br/>データの種類や情報更新の頻度等の指定、公開承認や公開期間等の指定を発注者で行う場合は、その内容を記載。</li> <li>・庁内用GISと連携し、データを公開する場合<br/>庁内用GISとの連携、公開・非公開設定についての仕様を記載。</li> <li>・公開用データを発注者で登録する場合<br/>登録機能および公開イメージ確認、公開・非公開設定、管理者による承認機能などの仕様。</li> </ul> |   |

|           |   |
|-----------|---|
| ○         |   |
|           | ○ |
|           | ○ |
| ○<br>※選択可 |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○<br>※選択可 |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
|           | ○ |
|           | ○ |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○         |   |
|           | ○ |
| ○         |   |
|           | ○ |
| ○         |   |
| ○         |   |
| ○<br>※選択可 |   |

|  |       |  |                             |
|--|-------|--|-----------------------------|
|  |       | 縮尺に応じて、アイコンのサイズや形状等を変更せず、画面上で一定のサイズで表示できること。<br>また、ラベルやアイコンは、縮尺に応じて非表示にできること。非表示とする縮尺は、アイコンごとに設定できること。 |                             |
|  | 地図の種類 | 公開する地図データの種類の指定の通りとする。   | <div>・必要に応じて具体例を示すこと。</div> |

|           |  |
|-----------|--|
| ○         |  |
| ○<br>※選択可 |  |